

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 24 号	氏名	井手 昇
学位審査委員	主 査 佐々木 均 副 査 河野 茂 副 査 酒井 英樹		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肺移植における拒絶反応や副作用を抑制するために、免疫抑制剤タクロリムスの吸入投与の有効性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットの一側性同所性移植モデルを作成し、タクロリムスの筋肉内投与と噴霧投与における病理組織学的な拒絶反応の程度と、初期反応としての気管支随伴リンパ組織に対する増殖細胞核抗原染色を比較しており、研究手法も妥当である。また、血液中と移植片中のタクロリムス濃度を酵素免疫測定法で測定している。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で研究した結果、肺移植におけるタクロリムス吸入療法は、移植肺に対して効率的に薬剤を到達・維持させ、低い全身移行性を達成できる有効なアプローチ法であり、今後、移植肺の拒絶反応コントロールにおける全身投与法に代わる有効な手段となり得ることが期待される。</p> <p>以上のように本論文は移植治療の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			